

人に対する積極的な行為

松戸市立栗ヶ沢中学校 校長

かねこ くにあき

金子 邦晃

TVのCMでよく流れてくる「こころは誰にもみえないけど　こころづかいは見える」「思いは見えないけれど　思いやりは誰にでも見える」というフレーズは、映像とともに鮮烈な印象を焼き付けます。これは宮澤章二の詩「行為の意味」から抜粋しているのですが、続きに「それは人に対する積極的な行為だから」とつづられています。

震災があったから、何かが生まれたのではないでしょう。人間は、厳しい自然に立ち向かうために、群れ、共存する集団をつくってきました。お互いが「いたわり」の気持ちを持ち、お互いの関わりの中で、人に対する積極的な行為があったから、苦しさ

を、悲しみを、恐怖を乗り越えてきたのだと思います。私たちの「生きる」ことの根底には「いたわり」と「人との関わり」が必要なのだとあらためて、思い気づかされます。

一方で、最近の世論調査から「近隣住民との協力意識」が高まったとマスコミ等で報道されておりました。むしろ現代社会の希薄な人間関係をよく表していると思っています。幸いこの小金原地区には「おやじの会」のような、見守り、ふれあい、協力、関わり等に取り組んでいる会があります。この会を核として、こころがこころづかいになり、思いが思いやりになる『輪』が広がることを願ってやみません。